

『宮城県「日本はひとつ」しごと協議会』について ～ シンボルマークの決定 ～

東日本大震災という未曾有の被害に対し、被災された方々をはじめ、国民の雇用や生活の不安を一日も早く払拭するため、ニーズを踏まえた取組を迅速に行う必要があります。

政府では、「被災者等就労支援・雇用創出推進会議(座長 小宮山厚生労働副大臣)」において、『「日本はひとつ」しごとプロジェクト』を実施し、

① 被災された方々への就労機会の創出、被災地企業への支援、地元資材の活用

② 被災された方々や地元の意向を十分踏まえた被災地以外の地域へ就労

などについて、政府をあげて推進し、被災された方々の仕事と暮らしを、いわば日本中が一つとなって支えていくことを目指しています。

宮城労働局では、地域の組織として『宮城県「日本はひとつ」しごと協議会(座長 小山宮城労働局長)』を設置し、宮城県や国の出先機関、関係業界団体などのご協力をいただきながら、復旧事業などによって被災された方々の優先雇用に取り組んでおり、また、ハローワーク機能の拡大を図りながら、全国ネットワークを活用した被災者の確実なマッチングや被災地における避難所への出張相談なども行っております。

このようなことから、雇用についての支援制度のご相談や被災された方々の雇い入れ、求人のお申し込みは、是非最寄りのハローワークへお問い合わせいただき、雇用と地域の復興にご協力をお願いします。



【『「日本はひとつ」しごとプロジェクト』のシンボルマーク】

<マークの趣旨>

仕事(WORK)の頭文字「W」をモチーフに人が手をつないでいる様子を描いており、みんなが力を合わせ協力し合う日本をイメージし、被災された方を支える本プロジェクトを表現しています。



宮城労働局職業安定部

